

会山行報告書

通算山行NO	No. 335	報告者	後藤隆徳
年月日	2006年12月31日(日)	二万五千円=湯ヶ島・湯ヶ野・稲取	
山名	東伊豆山塊・東の猿山(仮称・1100m) 東南尾根~青スズ台(1237m)		
体力度=4・ややきつい 技術度=3・ふつう 藪漕度=少しある 道標=稜線はある 展望度=青スズ台は素晴らしい 三角点=青スズ台・三等三角点			
<b>凄い急登の東の猿山に行く</b>			
コース とタイム	下田—片瀬—白田川—堰口川—境橋発8:00—東南尾根8:25—林道—堰堤—東の猿山10:00—青スズ台10:50~12:30—青スズ台東北尾根—林道—境橋14:30		
標高差	上り 堰口川境橋398m~青スズ台1237m=839m+110m 下り =839m		
参加者	CL・後藤隆徳、加藤秀子		

このところ母の介護に何かと手がかかる。年末年始はディ・サービスが休みで連休と言ってもワイフに全て任せて山に安穩と行けない。だいいち「気持ちはその気」にならない。そんな訳で今年はショートで伊豆の山になった。

狙うは余人が入らない未踏の尾根で結局、「東の猿山」(仮称) 東南尾根に向かう。この「東の猿山」は、正式名称でない。三角点もない。実は「ゼンリン」地図で三筋山の北、青スズ台の南の1130mにこの名称が記載されている。しかし、よく見ると標高が本来の猿山と同じになっている。年末の「伊豆里山研究会」でこの件が話題になり、これは「誤植」でないかの結論だった。

ただ、この山はちょっと独立峰的で石楠花が素晴らしい。三角点はないが出来れば山名が欲しい。で、「仮称・遊び心」で「東の猿山」としたいところだが、某氏が先日、1130mにこの山名看板を設置してしまった。

ただ、三筋山~青スズ台を結ぶ縦走路すぐ脇の1130mでは、余りに面白くない。標高は30m低い、どうせならこの先の1100mにしたい。そんな訳で今回私はここを「東の猿山」とした。

良い尾根を上ると林道を横切り地図でも分かる物凄い急登に行く。何故か標高950を過ぎても左の沢状地形に堰堤が続く。以前、土砂崩れか何かあったのか。少し楽になると大きなブナがあった。ちょっと残念ながら、大きな幹が左に大きく折れていた。

1100m峰に上がった。ピークに中くらいのブナが立っている。幹に何か彫ってあるが、どうしてもハッキリしない。以前、誰かが何かのメッセージを残したのだろうか。この先は岩場があり、石楠花が生い茂る。素晴らしい。1130mから上ったり下ったりで、青スズ台着。いい所だ。予定では戸塚山から下る予定だったが、ここで終了とした。明日、元旦登山をする「伊豆里山研究会」(?)の皆さんにメッセージを残して東北尾根を下った。



戸塚山方面

山中の不思議な堰堤



美しいブナ  
青スズ台南

今年最後の山  
青スズ台

